

第 48 回全国健康保険協会山形支部評議会議事録

I. 開催日時：平成 30 年 11 月 1 日（木）午前 10 時～午後 0 時 5 分

II. 開催場所：山形国際ホテル

III. 出席者：安藤枝美子 評議員、和泉田保一 評議員、市村清勝 評議員、
伊藤陽介 評議員、遠藤順子 評議員、遠藤靖彦 評議員、国井富彦 評議員、
齋藤佳彦 評議員、高橋忠勝 評議員（五十音順）

IV. 議題

1. 平成 31 年度保険料率について

(1) 平均保険料率

(2) 都道府県単位保険料率を考える上での激変緩和措置

(3) 保険料率の変更時期

2. 平成 30 年度上期事業状況報告

3. 「やまがた健康企業宣言」について

V. 議事概要

各議題につき、事務局より資料に基づき説明。主な意見等は以下の通り。

(1) 平均保険料率

【和泉田評議員】

平均保険料率についてのシミュレーションから、平成 31 年度及び今後の保険料率のあるべき水準の決定には、賃金上昇率が重大な要因を占めるかと思われる。

1 人あたり標準報酬月額率の指数について、平成 15 年度と平成 29 年度が同じ数値であるが、賃金上昇率はないという理解でよろしいか。

【事務局（企画総務部長）】

標準報酬月額上限を平成 28 年度に 121 万円から 139 万円に引き上げたため、上昇したこともあるが 15 年間横ばいである。

【国井評議員】

高齢者比率が上昇していく中で、健康を害する方が増えていくことが予想される。一方、今後の経済状況が大きく成長することは望めないため、現状の 10%維持が妥当であると考える。

【遠藤順子評議員】

今後の賃金上昇が見込めない状況である一方、医療費は上昇傾向が続いているため、長期的な観点から平均保険料率は 10%維持が望ましい。

【齋藤評議員】

10 年間のスパンで見て平均保険料率を 9.8%にすると、準備金残高が法定準備金の水準まで落ち着くこととなる。

10 年を一区切りと考えた場合、保険料率を下げて法定準備金の水準までもっていくことが望ましい。

【高橋評議員】

平成 30 年度の平均保険料率を検討した時と状況は変わっていないと考える。

中長期的な観点からすれば引き下げた後に大幅に引き上げとなると、そのほうが大きなデメリットになると考える。

平均保険料率 10%を維持した上で効率的に運営できる状況が望ましいと考える。

【安藤評議員】

消費増税もあり生活が困難な状況ではあるが現状の 10%維持でよいと考える。

【遠藤靖彦評議員】

十分に準備金があるので、保険料率を下げることを考えるべきだとは思いますが、引き下げた後に大幅に引き上げとなると、そのほうが大きな負担になることから 10 パーセント維持でよいと考える。

【市村評議員】

準備金をこれだけ保有しているのであればそれを還元しなければならない。

いったい誰が貯めた準備金なのかと考えると、現在保有している準備金は、将来の方に対して還元するものではないと考えている。

保険料率を一旦下げて、準備金が足りなくなったら各々が危機感を感じるようになると思うし、その時点で保険料率をどうするのか検討してもらうのも一つの方法だと考える。

【伊藤評議員】

協会の財政が赤字構造であり今後の経済の状況も厳しめに見ないといけない中で、例えば 9.8%に引き上げた時に感じる恩恵と、数年後に大きく上昇した場合の負担感とを考えた時に、大きな負担感を将来の世代が感じてしまうことは避けたほうがよいと考える。

また、平成 4 年に保険料率が下がった時に国庫補助率も下がっている経過も踏まえると、保険料率を下げた場合に国庫補助率がどうなるかについても留意が必要ではないか。

【和泉田評議員】

消費税の増税は保険料率に影響を与えるか。

【事務局（企画総務部長）】

消費税が増税になると、医療機関に支払う診療報酬が引き上げになる。

よって、医療費の支払いが増加するものと思われるので、保険料率が上昇する可能性は

ある。

【齋藤評議員】

現時点において平均保険料率を 10%で維持したとしても、今後医療費が増加していくことを考えると、将来的に保険料率は 10%を超えざるを得ないことが予想される。

準備金があるのであれば、一旦保険料率を下げてよいのではないだろうか。

一方、保険料率を下げることによって国庫補助率も下がってしまう状況は望ましくないと考える。

【和泉田評議員】

保険料率を下げることは国庫補助率に影響を与えるのか。

【事務局（企画総務部長）】

明確には分からないが懸念材料ではある。

【遠藤靖彦評議員】

数年後には単年度収支が赤字にならざるを得ないことを考えると、平均保険料率を維持することが妥当であると考ええる。

【国井評議員】

現在保有している準備金を運用することは可能なのか。

【事務局（企画総務部長）】

積立金を投資して運用することはできないので、黒字が続いたとしてもその分積み立てられる構造となっている。

【国井評議員】

長期間準備金を保有することの意味付けとして準備金の運用も視野に入れてはどうか。

準備金を法定準備金の水準まで減らして必要なときにまた保険料率を引き上げるということは合意形成をはかるのに相当なコストがかかるのではないか。

そういった事からも 10%維持が望ましいのではないか。

【市村評議員】

保険料率変更のためのコスト（経費）はかかるのか。

【事務局（企画総務部長）】

コストという観点での試算は難しいが、保険料率を下げて赤字構造になった後にまた保険料率を上げたいという議論は難しいものになると考える。

【市村評議員】

議論もないまま保険料率を維持し続けているよりは、逆にそういった議論を行うことが大切だと思っている。

準備金が法定準備金を大きく上回っているのであれば国民に還元すべきではないかと思

う。

還元した上で、足りなくなったら議論をするという、議論をする事自体が国民の意識を向けるうえでも大切であると考えている。

【遠藤順子評議員】

法定準備金があるので国庫補助率を下げるという議論にはならないのか。

【事務局（企画総務部長）】

赤字構造ではあるが、準備金にゆとりはある。そのお金を使って加入者の健康づくりに力を入れることで将来的に医療費の増大を抑えることができるのではないかと考える。

支出が膨らむ理由の一つに、後期高齢者等の拠出金もあり、それらの見直しも国に向けて働きかけもしている。

協会けんぽとしては医療費の伸びが少しでも抑えられれば、保険料率の上昇を抑えることができると考えているので、医療費適正化など医療費の伸びを抑える活動に力を入れていきたいと考えている。

(1) 平均保険料率についての各自の最終的な見解を述べた。

【国井評議員】

10%維持が望ましい。

【遠藤順子評議員】

10%維持が望ましい。

【齋藤評議員】

引き下げが望ましい。

【高橋評議員】

10%維持が望ましい。

【安藤評議員】

10%維持が望ましい。

【遠藤靖彦評議員】

準備金を還元することが必要であると考えてるので、平均保険料率は引き下げが望ましい。

【市村評議員】

引き下げが望ましい。

【伊藤評議員】

10%維持が望ましい。

【和泉田評議員】

引き下げが望ましい。

(2) 都道府県単位保険料率を考える上での激変緩和措置について議論された。

激変緩和措置は計画的に解消するのが望ましいという意見が大半を占めた。

【市村評議員】

激変緩和措置については、都道府県格差が生じないような措置が必要である。

(3) 保険料率の変更時期について議論された。

保険料率の変更時期については4月納付分から変更で異論は無かった。

2. 平成30年度上期事業状況報告

企画総務部長及び業務部長より説明。

3. 「やまがた健康企業宣言」について

企画総務部長より説明。

【伊藤評議員】

事業報告の目標値（以下、K P I）は支部ごとに設定するのか。また、どのような観点から数値を設定するのか。

他支部と比較して山形支部の現状や、また、課題があれば補足いただきたい。

【事務局（企画総務部長）】

K P Iは各支部の現状を踏まえて設定しているものであり、各支部が数値目標を達成することで、協会全体としての目標を達成し得るものである。

他支部と比較すると、健診受診率・特定保健指導率は上位であるが、特定保健指導後のメタボリックシンドローム改善率が低いことが課題である。

特定保健指導対象者の減少率はインセンティブ制度の評価指標のひとつでもある。インセンティブ制度は上位過半数となる支部に対して報奨金が付与され、保険料率が引下げとなる。上位過半数に到達するためにも特定保健指導対象者の減少に努める。

【遠藤順子評議員】

年金機構については、外部委託業者の契約違反が発覚したため、外部委託のあり方について見直しを行うと聞いている。

レセプト点検の外部委託について、現在3市町村で行っているとあるが、今後は他市町村に拡大する予定はあるのか。

【事務局（業務部長）】

レセプト請求の20%相当分について外部委託を行っていたが、本部で費用対効果を検証した結果、期待する効果は得られなかったもので、協会全体として平成31年1月から外部委託は中止する。

以上、評議会の議事の経過並びに結果が正確であることを証するために、議事録を作成し、議長並びに議事録署名人はこれに押印捺印する。

平成 30 年 月 日

議長 和泉田 保一 ⑩

議事録署名人 市村 清勝 ⑩

議事録署名人 国井 富彦 ⑩